



SDI スイッチャ

# ISW-7MX2

リモート (Control Input) 操作通信仕様

—第1版—

梅 沢 技 研 株 式 会 社

# 目次

## リモート (Control Input) 操作通信仕様

1. シリアル通信条件	2ページ
2. LANによる接続	2ページ
3. コマンド表	2ページ
4. 制限事項	3ページ
5. コマンド詳細	3ページ

# リモート(Control Input)操作通信仕様

## 1. シリアル通信条件

RS-232Cによるシリアル通信でリモート制御が可能です。

同期方式	調歩同期式(非同期)
ボーレート	9600, 38400 [bps]
データビット長	8 [bit]
ストップビット	1 [bit]
パリティ	なし

\*工場出荷時のボーレートは9600bpsに設定しています。変更する場合は、正面パネルを外し、下部、左側のロータリースイッチを下表に従って設定し、電源を再投入して下さい。

ロータリースイッチ設定	ボーレート
0	9600bps
1	38400bps

## 2. LANによる接続

TCP/IPプロトコルによるソケット通信でリモート制御が可能です。

通信方式 : TCP/IP  
IPアドレス : (デフォルト) 192.168.1.250  
サブネットマスク : (デフォルト) 255.255.255.0  
ポート番号 : (デフォルト) 10001

## 3. コマンド表

項目	コマンド (ASCII)	補足	機能
(1)	PWONcr		POWERスイッチをONする
(2)	PWOFcr		POWERスイッチをOFFする
(3)	PW?cr		POWER状態要求
(4)	@x,ycr	x: "0"~"16" y: "0"~"16"	クロスポイントの切り換え
(5)	Rcr		クロスポイントの取得
(6)	Wcr		クロスポイントの記憶

※ " cr" はHEXコード '0D'Hを表します。

# リモート(Control Input)操作通信仕様

## 4. 制限事項

- ・設定モード中は全てのコマンドが無効となります。  
    応答データ(ASCII) : NAKcr
- ・連続送信は応答データ受信後、送信して下さい。
- ・異常データ受信時は下記データが送信されます。  
    応答データ(ASCII) : NAKcr

## 5. コマンド詳細

### (1) POWERスイッチのON

コマンド(ASCII)
PWONcr

応答データ	
正常応答時	異常応答時
ACKcr	NAKcr

- ・当コマンドを受信することにより、本体がスタンバイ中(POWERスイッチが消灯中)の場合、POWER ONとなります。

### (2) POWERスイッチのOFF

コマンド(ASCII)
PWOFcr

応答データ	
正常応答時	異常応答時
ACKcr	NAKcr

- ・当コマンドを受信することにより、本体がPOWER ON中(POWERスイッチが点灯中)の場合、POWER OFFとなります。

## リモート(Control Input)操作通信仕様

### (3) POWER状態要求

コマンド(ASCII)
PW?cr

- POWER状態を要求します。本体は当コマンドを受信後下記の応答ステータスを送信します。

応答データ (全データ長5byte)

NO.	データ詳細	データ長	出力値
1	ヘッダー部	3	“PW=”
2	POWER状態	1	'0' : OFF '1' : 起動中 '2' : ON '3' : OFF処理中
7	データ終了	1	cr

- (例) POWER ON時の応答 : PW=2cr

# リモート(Control Input)操作通信仕様

## (4) クロスポイントの切り換え

コマンド(ASCII)
@x,ycr
x: "0"~"16" y: "0"~"16"

### コマンド詳細

@ [出力番号] [,] [入力番号] [cr]

出力番号は"0"~"16"を指定します。また、最大3桁(例:"016")の指定が可能です。

出力番号"0"はALLの指定です。

入力番号は"0"~"16"を指定します。また、最大3桁(例:"016")の指定が可能です。

入力番号"0"はOFF(映像信号の切断)の指定です。

応答データ	
正常応答時	異常応答時
ACKcr	NAKcr

- ・クロスポイントの切り換えを行います。
- ・本体がPOWER ON時に制御可能です。OFF時は"NAKcr"を返答します。
- ・(例) OUTPUT 5にINPUT 1 2をセットする : @5, 12cr  
上記を3桁指定でセットする : @005, 012cr  
OUTPUT全てのINPUTを7にセットする : @0, 7cr  
OUTPUT 1 4のINPUTをOFFします : @14, 0cr

## (4-1)複数のクロスポイントの切り換え

### コマンド詳細

@ [出力番号1] [,] [入力番号1] [;] [出力番号n] [,] [入力番号n] [cr]

セミコロン

切り換えたい数分セミコロン[;]で繋ぎ、最後にcrを送信します。

指定数は最大16まで可能です。

- ・(例) OUTPUT 5にINPUT 1 2、  
OUTPUT 1 0にINPUT 6、  
OUTPUT 1 5にINPUT 3、をセットする : @5, 12;10, 6;15, 3cr

## リモート(Control Input)操作通信仕様

### (5) クロスポイントの取得

コマンド(ASCII)
Rcr

- ・クロスポイント状態を要求します。本体は当コマンドを受信後下記の応答ステータスを送信します。
- ・本体がPOWER ON時に応答可能です。OFF時は"NAKcr"を返答します。

応答データ (全データ長66byte)

R [ ; [OUTPUT1の入力番号] ; [OUTPUT1の入力番号] ..... ; [OUTPUT16の入力番号] cr  
出力番号1～16までの設定されている入力番号を3桁固定で応答します。

(応答例)

R:007;002;009;012;000;008;009;001;002;000;005;012;015;008;011;009cr

### (6) クロスポイントの記憶

コマンド(ASCII)
Wcr

応答データ	
正常応答時	異常応答時
ACKcr	NAKcr

- ・当コマンドを受信することにより、現在のクロスポイント状態を記憶します。  
これにより、次回POWER ON時、記憶したクロスポイントで起動します。
- ・本体がPOWER ON時に応答可能です。OFF時は"NAKcr"を返答します。
- ・本体がPOWER ON状態のまま、電源を切断した場合、前回起動時のクロスポイント設定で起動します。
- ・POWER OFF処理を行うと、自動的にクロスポイントは記憶されます。

注) 記憶処理実行後、応答するまで、約3秒かかります。それまで、コマンドは送信しないで下さい。